

SSKP  
**はばただより**  
vol.90

編集 社会福祉法人おおぞら会 **アクティビティセンターはばたけ**

編集責任者 三浦 明雄

〒181-0014 東京都三鷹市野崎3-17-9  
TEL 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274  
URL <http://habatake.jp/>



～紙漉きは気合と集中!～



～ミキサーでパックの原料を溶かします～



～名刺やロゴはプリンターを活用!～



～ステンシルで便せんに模様づけします～

はばたけ班紹介 「てすき班 ～紙は一日にしてならず」

てすき作業は漉くだけではありません。漉くのは工程の一つであり、その前後には様々な過程があります。紙パックをミキサーで溶かす、ステンシルを用いた模様づけ、名刺やハガキ、ロゴマークなどの印刷作業。それらひとつひとつの作業をていねいにやっていくことがよい製品につながっていきます。機械作業も手作業も大切なことは同じ。「より良いものに～」その心がけが紙パックを一枚の紙に蘇らせていくのです。

## 施設長のひとりごと...

今日は3月3日ひな祭り。女の子がいる家庭では、お雛さまを飾っていることだろう。僕には子どもがいないから、勿論お雛さまもない。もし、子どもができるとしたら女の子がいい。元来、女好きなのだと思う。しかし、実際の子育てともなれば、かわいしばかりでもない。

僕の知り合いの娘が、精神科に入院した。原因は、リストカットだ。多いときは、一日に5回も手首を切った。食事も取らなくなり、高校にも行けなくなった。家族の心配も頂点に達して、入院させた。父親である彼と話した時に印象に残ったのは、「反抗期がなかったな」という言葉である。勉強も一所懸命やり、私立の中学に入り、学級委員も務めるお手本のような子だった。

しかし、女子高校に入り、彼女の心の中に何かが起こり始めていた。クラスに好きな子ができたが、その子は、性同一性障害だった。彼女(彼)への傾斜は急速に深まった。その気持ちをコントロールしきれずに、リストカットに走ったのかもしれない。結局、彼女(彼)は、制服であるスカートを着続けることに耐えられず、他の高校に編入していった。そして、彼女も退学して、今は家族療法も含めたカウンセリングに通いながら、穏やかな日々を過ごしている。

相談を受けてみて、はじめて分かったことは、思春期を専門とする精神科病院が非常に少ないということだ。この辺では都立梅ヶ丘病院くらいである。その梅ヶ丘病院に、母親が外来受診を電話で問い合わせたところ、2か月先までいっぱいだと言われたそうだ。保健所には、思春期相談を積極的に行なっているところもあるが、保健所も保健婦もどんどん削られて一時の半分以下になってきている。治療費用もばかにならない。彼女は、母親とともに精神科クリニックに通院しているが、カウンセリングも含めて月に10数万円かかっている。

こうした相談を受け、援助をしていてつくづく思う。「どこが豊かになったんだ？」と。ほかに、脳梗塞で倒れた妻を家に引き取れず、仕方なく車で2時間以上かかる病院に預けている人。その費用は、月に30万円近くかかっている。例えば、車椅子の夫と暮らしているアパートを立ち退かなければならなくなり、車椅子対応の公営住宅を申し込んでいるが、入居の見通しが全く立たない人。奥さんは、生活を支えるために高齢だが朝から晩まで働いている。例えば、必要があって入所施設の利用を希望してもすぐに利用できる施設はなく、あっても遠い他県の施設になる。例えば、特別養護老人ホームの待機者は、400名以上いる。などなど。

あー。実はつい最近、知っている人が飛び降り自殺をして亡くなってしまった。気持ちは極めてブルーなこともあって、つらい内容になってしまった。せめて、雛あられでもあればいいのだけれど、それもない。

ここはやはり、はばたけ利用者の100万ドルの笑顔に助けてもうとしよう…。利用者の笑顔は、お雛さまの端正な笑顔と同じくらい心穏やかにさせてくれる。

(みうら あきお)



# どうなる？ 障害者自立支援法

はばたけ連続講座 開催

～ 障害者福祉の行方を考える～

2月18日(金)

近隣の施設なども含めた職員の研修の場として昨年度より始めた「はばたけ連続講座」。今年度は、「障害者福祉の行方を考える」というテーマで、3回にわたり各分野の講師をお招きしてお話を伺います。第1回目は、「障害者自立支援法と今後の障害者施策について」というまさに今進行中の問題について、三鷹市健康保健福祉課長の酒井利高氏に三鷹市の情勢を含めお話いただきました。

障害者を支える法制度が大きく変わろうとしている中での研修会ということで、当日は市内の施設職員(街かど自立センター・北野ハピネスセンター・食茶房むうぶ・三鷹ひまわり作業所)など、計30名が集まり意見交換をすることができました。障害者自立支援法については、早急な法案であった上に現時点でも見えないことが多くあり、それゆえの危機感や不安を訴える声が多く聞かれました。酒井課長からも「今後もこういう機会をぜひ継続して、三鷹市全体で取り組んでいきたい」という言葉を頂き、今後の取り組みにつながるきっかけとなりました。

## 障害者自立支援法って？

2004年10月に厚生労働省から出された「今後の障害者保健福祉施策について(グランドデザイン案)」。それは、今までにない障害者福祉施策の大きな転換に向けての試案でした。それから半年もたたない今年の2月10日に国会に提出された「障害者自立支援法」では、2006年1月から、さまざまなサービス利用料の自己負担(応益負担)が求められ、そして来年から5年をかけて新しい施設体系の整備がはかられようとしています。

そもそも介護保険制度や支援費制度などこの間進められてきた国の施策には、大きな背景に財政的危機という事情があります。その失敗の代償を“公平性”をもって利用者に押し付けてくるというのは本末転倒であり、社会保障・社会福祉の後退と言わざるを得ません。さらに、障害者自立支援法では、自立支援・就労などに重点をおきながら、障害者雇用制度や就労支援についての制度的な保障がまったくもって不十分なままであり、そのことも大きな問題点であるといえます。

例えばこのままでいくと・・・

**利用者・家族**

家族と同居する家からはばたけに通う人は、食費 + 定率負担 = 約3万円の負担が見込まれていますさらに医療費についても1割負担が課せられることとなります。

**はばたけ**

「通所授産施設」という名称・機能の施設はなくなり、新しい体系に組み込まれます。しかし現在示されている施設機能の範囲は実態とかけ離れた、限られた枠であり、それにあてはまらない場合はデイサービスの扱いとなり、国の義務的経費の枠から外れ、運営的に大変厳しい状況に追い込まれることも考えられます。

これはあくまで“このままいけば...”の話です。しかし、厚生労働省がこういう考えのもと早急に改革を押し進めようとしているのだということは、危機感をもって理解しておかなければなりません。

こういった流れの中、私たちは先頭にたつてこの自立支援法の問題点を訴えていかなければなりません(今回の日よりでお知らせしている、きょうされんの国会請願署名のご協力をお願いいたします)。それと同時に私たち施設も襟を正し、将来的なビジョンを持って、地域で障害のある人たちを支えるシステムをもっと主体的に考えていかなければならないのだと思います。

\* 第2回「保育の現場から」・3回「障害児教育の現場から」の連続講座の報告につきましては、次号でお伝えしたいと思います。



# 節目を祝う会

おめでとう！！

やはらさん

たけださん

1月28日(金)はばたけの食堂にて、節目を迎えた2名の利用者を囲んで、手づくりの温かい祝福会が開かれました。みんなで心からお祝いしよう！と、企画から準備まで仲間やボランティアの方々が協力し合い、その多彩なプログラムに やはらさん・たけださんはもちろん、参加者全員楽しいひとときを過ごすことができました。

今回の目玉はなんと言っても「餅つき」！はじめは重い杵に悪戦苦闘する利用者も……。ボランティア(餅つきもたれズ会)の方の手ほどきを受けつつ、掛け声に合わせて「よいしょっ！」「よいしょ！」とみんなで大盛り上がりすることができました。

仲間の代表からは、「はっぴのフレディ」の朗読。大勢の前で発表することが苦手な人も、毎日練習したおかげで本番は大成功！会場からたくさんの拍手をもらい、緊張していた顔にも笑顔が見られました。



仕事熱心で頑張り屋！疲れも見せず毎日黙々とクッキーやパウンドケーキ作りに励むやはらさん。節目を迎え「これからも仕事頑張ります！」と頼もしい言葉を聞かせてくれました。



はばたけイチ？のひょうきん者で、いつも和ませ役の たけださん。本人に関するクイズコーナーでも、見事に笑いを提供してくれました。



ご家族の方からは、誕生の時の様子や子ども時代などを振り返ってお話していただきました。

「沢山の人に支えられて今日まで来ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです」という言葉を聞き、ジーンとくる場面も……

持参してくださったアルバムにも、ご家族の深い愛情が沢山詰まっていて、とてもあたたかい気持ちになりました。

これからも、いろんな人との出会いや経験を大切に、ステキな人生を歩んでいけると良いですね！！

3度目の  
挑戦!

# 激走&完走! 駅伝大会!



~感動のゴールの瞬間! きくい選手です! ~

三鷹に春を呼ぶ「第13回三鷹市民駅伝大会」が2月6日(日)に行われ、われらははばたけチームは、幾多のアクシデントを乗り越えて無事に完走を果たしました。

大会は9時20分の号砲でランナーが一斉にスタート! 第1区は今回で3年連続の参加になるベテランささき選手。4区間の中でもっとも長い4キロの道のりを安定したペースで伴走なしで快走しました。

続く第2区はせと選手。実は今回の練習中にヒザを痛めてしまい、自慢の全力ダッシュができませんでした。しかし、足をひきずりながらもゴールを黙々と目指し、見事に時間内にタスキをつなぐことができました!

第3区はいいじま選手、ゆっくりペースながらも休むことなく走り続けるいいじまさんは、昨年と同じ三鷹駅前のコースを力走! しかし、今回繰り上げ時間が短縮された関係で惜しくもタスキをつなぐことができませんでした。途中で繰上げスタートになった4区のきくいさんにすれちがう場面もありましたが、自分のペースを崩さずに走り抜きました。

そして、ラストランナーは今回初参加のきくい選手! 自ら志願したアンカーとして、沿道の声援に照れながらも懸命に走り続けました。そして、ラストの市役所前ではこれまでに見たことがない全力ダッシュでゴールに駆け込み、みんなから拍手喝さいを浴びました。



~タスキをつないだ瞬間、やったよ! ~

今回、総合順位は最下位でしたが、昼休みや夕方を利用して練習してきた成果を、選手ひとりひとりの完走で見せることができました。来年もわれら赤シャツチームが三鷹を駆け抜けますよ

沿道につめかけてくれた市民のみなさま、あたたかいご声援ありがとうございました!

~ アクティビティセンターはばたけ ~

## おおぞら会後援会ニュース

各地で桜のたよりも聞かれ始め、春の訪れを感じるようになりました。はばたけの庭も、春の花や畑の野菜の青々とした葉の色で彩られ、あとは桜の花が咲くのを待つばかりです。

さて、前号のはばたけだより(発送分)で後援会費のご更新をお願いいたしましたところ、たくさんの方にご更新またご寄付をいただき、心より感謝いたしますと同時に、厚くお礼申し上げます。

今号の記事にもありますように、今、福祉の分野では制度が大きく変わろうとしています。そしてまた、それは施設利用者の自己負担や運営費削減など改悪の方向に向かおうとしています。このような情勢の中、後援会としてもあらためて土台をかため、何をどう支えていくのか明確にしていかなければならないと考えております。“はばたけサポーター”として、共にこの変革を乗り越えていくために、今後ともお力添えのほどよろしくお願いいたします。

### ★後援会新規ご入会・ご更新ありがとうございました

2004年12月16日から2005年2月18日の間に、個人35名の方から、ご入会・ご更新をいただきました。ありがとうございました。今後とも皆様の暖かいご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。



### ★後援会へご寄付ありがとうございました 12/16~2/18現在(敬称略)

2004年12月16日から2月18日の間に、個人12名の方からご寄付をいただきました。心より御礼申し上げます。

いただきましたご寄付は大切にに使わせていただきます。

### ○ 後援会へのご入会・今年度分のご更新をお願いいたします ○

年会費 1口 個人 2,000円 団体 10,000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。よろしくお願いいたします。

郵便口座 00160-0-39163

口座名義 社会福祉法人おおぞら会後援会



## 活動日誌 1月5日(水)～2月28日(月)まで

1月	5日	(水)	初詣 書初め	2月	1日	(火)	心の織り展(~28日まで)
	12日	(水)	家族会懇談会		2日	(水)	総括会議
	14日	(金)	職員会議		3日	(木)	家族懇談会
	21日	(金)	職員会議		4日	(金)	職員会議
	27日	(木)	理事会		6日	(日)	三鷹市民駅伝大会
	28日	(金)	節目を祝う会、生活支援委員会		10日	(木)	ブロック交流祭(ボウリング大会)
					18日	(金)	第三者委員会、連続講座
					23日	(水)	方針会議、理事会
					26日	(土)	長野スペシャルオリンピックス参加
					28日	(月)	

### 来訪された方々

TKC・吉田様 みんなの家・内野様 第三者委員・正田様、佐藤様、杉本様 ヘネッセ・木村様  
日建工業(株)・片岡様 ナ/A・榎本様 あらたの会・中内様 ワークショップ MEW・上村様  
ひまわり作業所・大沢様、小池様 ハローワーク三鷹・笠原様 麻生様 飯島意匠・飯島様  
NPO 法人 DEN・山下様、宮島様 三鷹市地域福祉課・酒井様  
富士市社協心身障害者小規模授産所 ひめな御一行様

### 実習生の方々(社会福祉援助技術実習・介護等体験・養護学校進路実習)

国立音大・盛田様 大東文化大・木村様 昭和女子大・川島様

### ボランティアの方々~いつもありがとうございます!

佐々木久人様 岡村正実様 榛澤様 松下様 佐々治様 青木様 八田様 稲吉様

## スペシャルオリンピックス 冬季長野大会に行ってきました



フロアホッケーはスゴイ迫力! 格闘技のようで、4人とも目が釘付けでした。

また、地元のボランティアと交流もするなど、楽しい二日間を過ごしました。

スペシャルオリンピックスは、知的障害者の世界規模のスポーツイベントで、4年おきに世界中で開催されています。今回はNPO 法人 DEN の やました さんからお誘いを受けて参加しました。参加したのは ごとうさん、ささきさん、おきやまさん、職員の たつ の の4人。



information

# **THE ROOKIES** ライブ出演決定！！

**2005年4月24日(日)**

**場所** LA TOT (042 - 500 - 5454)  
(JR昭島駅南口を出て左 徒歩2分)

**時間** 13:30開場 14:00開演

**料金** 一般 1000円 障がいのある方 700円

このたび、多摩地区の知的障害者施設、にじの会・なごみ・はばたけの3施設が集まり、音楽を通して交流しようとライブを合同企画し行なうことになりました。みんなで歌って踊って、楽しい午後のひとときを一緒に過ごしましょう！  
みなさまのお越しを心よりお待ちしております～す！！

お問い合わせは…はばたけ ト部・村井まで

## **きょうされん第28次国会請願署名・募金活動にご協力を！！**

抜本的な制度の改善を求め、今年も国会請願署名・募金活動を行なっています。障害のある人たちが、安定した地域生活を維持できるよう、ぜひ署名と募金にご協力をお願いします。

集められた募金は、署名運動の資金、全国大会への利用者の参加費用、各作業所の運営費として有効に活用させていただきます。

お問い合わせ・署名用紙送付先はこちらまで・・・

**アクティビティセンターはばたけ 国会請願係(担当：村井)**

しめきり 4月中旬まで

### [編集後記]

先日、利用者がボランティアとして関わっている幼稚園を訪問してきた。幼稚園の協力で昨年の夏から週一回、子どもたちと一緒に遊んだり、スタッフのお手伝いをさせてもらっている。引っ込み思案な本人が、施設とは全く別の環境でやっていけるか不安だったが、実際本人の生き生きしている姿を見て、そんな心配は全く不要だった。

本人の「子どもたちに関わりたい」という気持ちで始まったこの取り組み。職員が過保護になりがちだが、これからもっと社会を『見て触れて体験』する機会を提供していけたらと思う一日だった。(深澤)

発行 障害者団体定期刊行物協会  
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21

企画・編集 アクティビティセンターはばたけ

編集責任者	三浦 明雄	頒
編集委員長	伊東 暁子	価
編集委員	ト部 禎生	50
	深澤実希子	円